

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン**【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像

「確かな学び」「豊かな心」「健やかな体」を育みながら自他ともに尊重し、自ら考え、行動できる子ども

堺市立八田中学校
校長 江戸 善信

令和6年度 重点目標

八田中学校群目標：「自ら課題を見つけ主体的に考え判断し根気強く取り組む児童生徒の育成」に向けて取り組む

○「子ども理解」を基盤に、誰一人取り残すことなく学びの場を提供し、自尊感情の高揚を図り、学校行事の充実や授業改善を通して、一人一人に居場所と出番を確保して互いを認め合い支え合える集団づくりをめざす — ○2024八中プロジェクト『さ・し・す・せ・そ』を推進する —

「確かな学び」の現状

本中学校区では、以前より家庭学習に関する取組を行ってきているが、昨年度の『チャレンジテスト』やC B T調査等の結果では、各学年とも「学校に持っていく物を前日か当日の朝に確認・学習に必要なものは毎日揃っている・家で学校の宿題をしている」等における肯定的回答率が堺市平均を下回っている。一方、「勉強することは自分に必要なことだと思う・どの方法が自分にあった勉強の仕方を考えている」での肯定的回答率についても課題がある。学習習慣の定着や学習環境の整備等が十分にできていないことや学習における継続力、調整力、主体性等も不十分な現状から、「確かな学び」の確立に向けては、指導方法の工夫改善、家庭とも連携した家庭学習の向上が必要であると受け止めている。

「豊かな心・健やかな体」の現状

昨年度の「全国体力・運動能力・運動習慣等調査（中学2年生対象）」の実技結果では、男子が「握力・シャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ」で堺市平均を上回り、女子は「握力・ハンドボール投げ」で堺市・大阪府平均を上回った。C B T調査でも「外で体を動かすことが好き」との回答は堺市平均を上回った。しかし「自分の得意なことを知っている・自分には良いところがある・将来の夢や目標を持っている」等の設問での肯定的回答率は堺市平均を下回った。「健やかな体」を培うために、今後、体育の授業改善や部活動を工夫して、体育的活動が好きな生徒を多く育成する必要がある。「豊かな心」の育成に向けては、各授業での指導改善や各行事の工夫等を通して集中力、粘り強さ、自尊感情等を育むことができる指導実践が必要と捉えている。

大項目	中項目	具体的取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～2月)	達成状況(年度末)				
							自己評価	学校関係者評価			
確かな学び	授業の工夫改善	生徒が意欲を持って取り組むことができるよう指導方法の改善を行う。	●学力向上委員会を核とした授業の工夫改善の発信を行う。 ●公開授業を行い積極的な意見交換の場を設定する。	肯定的評価を昨年度より向上 ・全員参加の公開授業年3回実施	学校教育アンケート、チャレンジテスト、C B T調査 公開授業実施の有無	年度末 ○	・全教職員参加の研究授業を各学年で学期毎に実施、その後の研究討議で授業の充実について意見交換し全教職員の意識を高める。	○	・肯定回答率では「授業中は学習に集中している」で3年が昨年度と堺市を上回った。(R5.82.4・市90.8・91.2)「学んだ内容を振り返り何ができるようになったかを実感している」で3年が堺市を上回り(市65.8③68.1)、「先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについてわかるまで教えてくれる」で1年は堺市を上回り(88.3市87.5)、3年は昨年度を上回った。(R5.88.2・89.0)「授業中は学習に集中している」で2年は昨年度を上回り(R5.79.6・81.0)、3年は昨年度と堺市を上回った。(R5.83.5・市90.8・91.2)	○	これまでの関係性の構築や習熟度別指導などで、生徒同士が教え合うなどの場面が増えてきたことは嬉しいことである。様々な課題があるが、継続した取り組みをお願いしたい。
		●今年度から取組む「朝学習」での指導内容や方法の確立とその定着と改善に取り組む。	肯定的評価を昨年より向上	学校教育アンケート、チャレンジテスト、C B T調査	年度末 △	・年3回の校内職員研修や毎職員会議で校長より授業改善について伝達研修や助言指導を行い、「学びのコンパス」や「居場所のある授業づくり」を指示。	○	・「授業でパソコンを使い一層相手に伝わるよう工夫して発表する」の肯定的回答率で2年が昨年度と堺市を上回った。(R5.62.5市68.0・71.4)	△	授業での活用率やその質はあがっているように思うので、継続してほしい。	
		●授業等においてタブレットを積極的に活用する。	・授業において生徒のタブレット活用率を昨年度より向上	学校教育アンケート、チャレンジテスト、C B T調査	年度末 ○	・教科指導に加え学活や係活動での積極的なタブレット活用と市アンケート結果を毎職員会議で全職員に周知活用活性化を依頼。	△	・「塾での勉強を除く」平日勉強する(家で学校の宿題や授業の復習をしている)」の肯定的回答率は全学年で堺市を下回った。(①市59.6・39.4市62.3・52.3②市50.0・47.6市57.1・49.9③市60.4・57.1市66.2・61.1)	△	タブレット持帰りは回収率課題等で普段の授業での使用に支障をきたすので仕方ない部分もある。学習の大切さを自ら理解できる取組を充実させてほしい。	
豊かな心	社会性の向上	規範意識の向上に努め社会のルールを守る態度を育成する	●学習・生活記録ノート「たいむくん」を活用し家庭学習の定着に取組み、学校群の各部会にて中学校区で家庭学習への取組の共通理解を深める。 ★●学校HPや通信等の工夫等を通して「自学自習ノート」の積極的な活用を促す。	肯定的評価を昨年度より向上 ・学校群各部会での検討会の実施	学校教育アンケート、チャレンジテスト、C B T調査 学校群各部会開催の有無	年度末 △	・定期的なタブレット持帰りを通し家庭学習での活用を促進、学年や学級通信等にて「家庭学習」の推進を呼びかける(主任会議で指示)	×	・「塾での勉強を除く」平日勉強する(家で学校の宿題や授業の復習をしている)」の肯定的回答率は全学年で堺市を下回った。(①市59.6・39.4市62.3・52.3②市50.0・47.6市57.1・49.9③市60.4・57.1市66.2・61.1)	△	タブレット持帰りは回収率課題等で普段の授業での使用に支障をきたすので仕方ない部分もある。学習の大切さを自ら理解できる取組を充実させてほしい。
		●登下校指導を活性化し、あいさつ運動を奨励して、各自の自尊感情の高揚を通して社会性を身につけることができるように取り組む。 ●集会指導の充実を通して物事の善悪判断等規範意識の高揚に取組み、社会のルールを守る態度を育成し生徒会活動の活性化によるリーダーの育成。	肯定的評価を昨年度より向上	学校教育アンケート、チャレンジテスト、C B T調査	年度末 ○	・毎日、教職員多数による登下校指導、全教職員による授業中の巡回指導を実践し自尊感情の高揚に努める。 ・オープンスクール中に全学年、全クラスで道德の公開授業を実施(3/4)。 ・各場面で集会でルール順守を説諭。 ・ネットリテラシー講話聴講。(11/25)	○	・肯定回答率では「学校の決まりやルールを守っている」で2,3年が昨年度を上回り(R5.87.5②90.5・R5.87.1③92.3)「難しいことも失敗を恐れず挑戦している」で全学年が堺市を上回り(①70.2市69.5②70.2市70.1③78.0市71.8)、「やると決めたことは最後までやり遂げる」で3年が堺市を上回った。(市81.2③85.7)	○	毎日の登下校時のあいさつや廊下巡回等、生徒の自尊感情を高めるために先生方は非常に頑張ってくれている。生徒は、さらに挨拶できるようになってきたと感じている。	
豊かな心	思いやる心の育成	人権感覚や自尊感情を高め、互いに認め合う心を育てる	●行事や特別活動、総合の時間の充実と努め、人権教育の充実と努め、人権意識の向上に取組み、互いの人権を尊重できる心と態度を育成する。 ●集会指導や生徒会活動とも連携し、いじめは絶対に許されぬ行為であることを十分に理解させるとともに、未然防止・早期発見に努める。	肯定的評価を昨年度より向上 ・両小学校6年生に中学生が指導する部活動体験の実施	学校教育アンケート、チャレンジテスト、C B T調査 部活動体験、防犯教室職員研修実施の有無 視察の市教委の意見	年度末 ○	・各行事や学年集会、全校朝礼において人権尊重の重要性について説諭。 ・人権侵害やいじめ防止への意識、規範意識の高揚を図り、警察の防犯教室(7/11)、専門家の職員研修(7/19・3/5)実施、部活体験(12/9)、部活仮入部(3月)実施。 ・オーケストラ生演奏を鑑賞。(11/14)	○	・肯定回答率で「自分には良いところがある」で1,3年が堺市を上回り(市79.6①86.2・市82.3③82.4)、「自分の得意なことを知っている」で全学年が堺市を上回った。(市85.6①88.3・市86.5②86.9・市87.3③87.9) ・工夫された防犯教室に生徒は集中し聴講。 ・市教委の学校視察で「前向きに学習する生徒が増え先生方も明るく元気が出てきた」と指摘。 ・「生徒指導の取組」で堺市長から優秀賞授与。	○	生徒指導の取組で市長から表彰をいただいたことは先生方の頑張りによるものだと思う。
		●見守りを兼ね地域の祭礼や催し等に教職員が参加する等、地域との連携を強化する。	肯定的評価を昨年度より向上 ・PTAと連携した地域行事への参加 ・月1回の3校長情報交換会に市教委指導主事等参加	学校教育アンケート 小中合同研修会実施の有無 学校HP閲覧件数 学校群取組活性化(市教委の意見等) 地域行事参加の有無	年度末 ○	・月1回小中3校長の授業観察や情報共有等各校の状況把握に努め、指導主事による「個の多様性に応じた指導に関する3校合同研修会」を実施。 ・学校群で八小にて集団行動発表会を実施し市教委も参観。 ・学校HP閲覧件数が昨年度より向上。 ・学校群合同職員研修会実施(7/25)。	△	・肯定回答率で教職員の「教育活動を進める上で家庭と綿密な連携ができています」が100%、保護者の「学校は教育活動全般について保護者や地域の願いに応えようとしている」85.1%、「学校の様子や学習内容を懇談や各種通信、HP等で知ることができている」92.0%。 ・学校群の取組に対し、市教委より賞状を受ける。 ・平日1日の学校HP閲覧件数が毎日300回を超える。(昨年度平日1日の閲覧件数は200～300回)	△	HPは他校の保護者からも評価されており、今後も続けてほしい。キャリア教育は大変重要であり、職場体験は子どもたちにとって素晴らしい経験になっている。	
地域協働	相互連携	中学校区の連携を深め、小中一貫した教育の充実を図る 学校の取組を保護者や地域に広く発信、周知する	★「学校群」の目標と各取組を共有し小中教職員が一体となり義務教育9年間を見通した教育の実践に努める。(両小に中学校教員を派遣) ●学校HP等を活用し積極的な情報発信に取組む。 ●見守りを兼ね地域の祭礼や催し等に教職員が参加する等、地域との連携を強化する。	●教員対象のアンケート調査を実施 ・中学校区で全教職員参加研修実施 ・学校HP年間閲覧件数を昨年度より向上。 ・PTAと連携した地域行事への参加 ・月1回の3校長情報交換会に市教委指導主事等参加	学校教育アンケート 小中合同研修会実施の有無 学校HP閲覧件数 学校群取組活性化(市教委の意見等) 地域行事参加の有無	年度末 ○	・月1回小中3校長の授業観察や情報共有等各校の状況把握に努め、指導主事による「個の多様性に応じた指導に関する3校合同研修会」を実施。 ・学校群で八小にて集団行動発表会を実施し市教委も参観。 ・学校HP閲覧件数が昨年度より向上。 ・学校群合同職員研修会実施(7/25)。	△	・肯定回答率で教職員の「教育活動を進める上で家庭と綿密な連携ができています」が100%、保護者の「学校は教育活動全般について保護者や地域の願いに応えようとしている」85.1%、「学校の様子や学習内容を懇談や各種通信、HP等で知ることができている」92.0%。 ・学校群の取組に対し、市教委より賞状を受ける。 ・平日1日の学校HP閲覧件数が毎日300回を超える。(昨年度平日1日の閲覧件数は200～300回)	△	HPは他校の保護者からも評価されており、今後も続けてほしい。キャリア教育は大変重要であり、職場体験は子どもたちにとって素晴らしい経験になっている。

校長より(年度末)

●確かな学び：課題である学力低位層の改善や生徒の学習意欲の高揚、主体的に取り組むことができる学習環境の再整備等、教員の指導力向上・授業改善の推進に努める。
●豊かな心・健やかな体：子ども理解を基盤に全職員が積極的に生徒に関わり自尊感情、人権感覚、規範意識を向上できるように、生徒指導や人権研修等の取組を充実させる。
●地域協働型教育：集団行動指導を中心に学校群の推進に取組み、小中一貫教育や集会、行事等の充実、生徒会や委員会活動の活性化、地域行事への参画等に取組み、多数の生徒が地域、社会で活躍・貢献できるように、一人でも多くのリーダー育成に努め、各通信、HP等を活用して保護者や地域に学校の活動を積極的に発信する。

学校関係者評価者から(年度末)

生徒の自尊感情を高める取組を、日々の活動や学校行事等でチームとして取り組んでいただいている。家庭学習の定着に向けて、その取組を地域でもできることは何かないだろうかと感じる。PTA研修においても、早い段階でのキャリア教育に取り組んでいくことが望ましいと考える。今後も、チーム力、学校群を活かして、特色のある取り組みを期待したい。